

トライアングル・トラストが情報交換会



グループディスカッションに臨む参加者ら

21社の人事担当者が交流

企業向けオーダーメイド研修を手掛けるトライアングル・トラスト（本社名古屋市中村区）は28日、名古屋市中村区の愛知県産業労働センター（ウインクあいち）で「第2回中堅企業人事担当者採用・育成 情報交換会」（中部経済新聞社後援）を開いた。製造業など中堅企業を中心に21社から39人が参加した。

情報交換会は、普段は接

する機会が少ない中堅企業の採用担当者同士による交流機会を設けることなどが狙い。

冒頭、愛知大学経営学部教授の鶴飼宏成氏が「急速に導入が進むアントレプレナーシップ教育と大学の変化」について講演した。鶴飼氏は「アントレプレナーシップは、さまざまな困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超

えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく行動能力」と説明した。

さらに「アントレプレナーシップ教育は自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、他社との協働により解決策を探索したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育」と話し、起業家を育成するためだけの教育とは異なるとも強調。その上で「採用のために大学へ行く時代は終わった。これからの企業に求められるのは、自社の変革と若手育成のため、大学の教育現場に参画し、共に汗を流すこと」と呼びかけた。

講演後、参加した人事担当者らによるグループディスカッションも行い、自社の現状や困り事などをそれぞれ披露し、グループごとに発表した。安田真浪社長は「他社の事例や課題などは参考になるものが多い。意見交換を通して自社の取り組みに生かしてほしい」と話した。